

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 021	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 海藻の農業利用について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 鎌倉市の沿岸には、県下全体の73.4%(公益財団法人 かながわ海岸美化財団)の海藻(カジメ、アラメ、ホンダワラ)が漂着し、残置または埋却処理を行っている。漂着量は平成5年～22年の18年間で56,162tとなっている。時期別には3・4月、7・8月に多い。そうした中、農業利用できないかという照会があり、塩分の除去等必要で利用は難しい旨回答をしている。さらに海岸からの運び出し、処理施設・方法、異物の除去等課題が多く肥料としての利用は経済性が低く実現可能性は低いようですが、未利用有機物の新たな活用ができないか、研究および情報提供を望む。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部土壌環境研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) アオサの堆肥化試験(平成8年度)、海藻粉末の肥料的効果試験(昭和63年度)		
対応の内容等	海藻(アオサ)の堆肥化およびカジメ乾燥粉末の施用試験についてはすでに試験を実施済みなので、技術的な情報提供をいたします。なお、具体的に海藻処理物の肥料等が試作された場合には、栽培試験等に取り組みたいと考えます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			